

## 食料安全保障のための無償資金協力「経済社会開発計画（肥料供与）」引渡し式

8月14日、令和4年度無償資金協力「社会経済開発計画（肥料供与）」の引渡し式が開催され、山中大使が出席し、日本からジンバブエへ肥料を引渡しました。

この支援は、ジンバブエが、エルニーニョ現象による干ばつや、東ヨーロッパ地域での紛争の影響による輸入肥料の価格上昇に直面していることから、小規模農家の生計を支援し、ジンバブエの食糧安全保障を確保するためのものです。

供与された肥料は硝酸アンモニウム（硝安）3,860 トンと NPK 混合肥料（コンパウンド D）1,940 トンで、6.5億円相当となります。

肥料は、ジンバブエ政府により、エルニーニョ現象による干ばつの影響を受けた約10万人の小規模農家に配布される予定です。

式典には、土・農業・漁業・水・農村開発省からハリタス副大臣及びマラピラ副大臣ほか、関係者約150人が出席しました。

（式典の様子）



ハリタス農業副大臣から本使に肥料受領額を手交



本使によるテープカット



肥料提供先等について説明



山中大使スピーチ